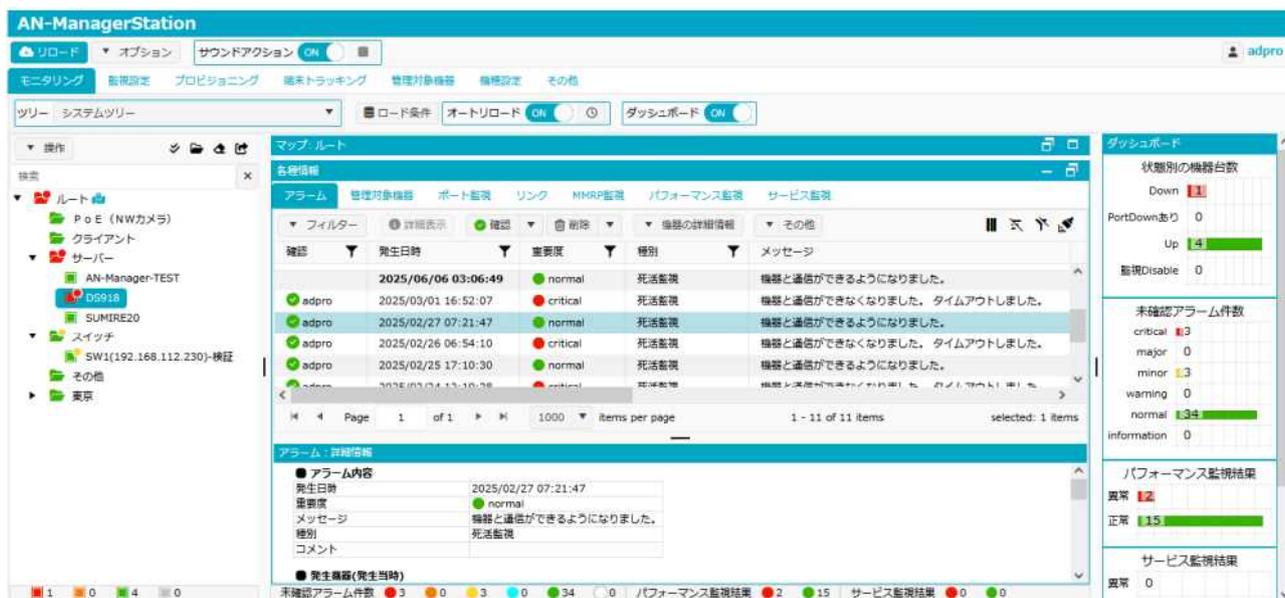


APRESIA SYSTEMS社製、NW監視ツール AN-ManagerStationの販売開始 お客様のご予算とお時間を節約

2025/6/18

株式会社すみれ情報システム 営業部



1. はじめに

弊社ではIT事業者向けにネットワーク監視システムの構築・保守サービスを提供しています。今回AN-ManagerStationの販売を開始しIT事業者様に採用頂ました。監視案件の大半はPingとSNMPステータス監視が多く、警報ランプ点灯後、監視ソフトへログインして画面から故障機器名、障害項目、時間、繰返し有無を確認するだけの事が多いです。サーバ監視ではステータス監視 (FAN、DISK、RAID、システムボード、冗長電源、温度異常) とリソース監視 (CPU、メモリ、ディスク空容量、トラフィック) を時系列のグラフやステータス変化をログから読み取り、アラートの前後の機器詳細ログと見比べる事で障害原因のヒント(エラーメッセージ)を探る事が可能と説明しています。構築では一般的なお客様運用に沿う形で監視項目とアラートを調整しドキュメントを作成しています。

2. AN-ManagerStationのここがおすすめ

- ・自然な日本語表示で外国製品のような文字消え、文字化け、英語文法の文章がなく、日本人による日本語表示の確認が不要で画面説明が楽。
- ・日本語カテゴリ名、システム名、機器名や説明的な複合名などを括弧やハイフン、カタカナで表現
- ・機器名やIP登録は表計算ソフトでCSVで作成し300行程度のインポート/エクスポートが数秒で完了。
- ・アラート管理画面が分かりやすく顧客に喜ばれます。新

規アラートは画面中央に赤く表示され「確認済み」とクリックするまで残り続けます。判別しやすい機器名を設定しておけば (建屋-フロア-目的-接続先) アラートを見るだけでどこかの何か故障したか分かるように作成できます。

- ・ステータス表現は階層構造のツリー上に東京・大阪などのグルーピングを作成し、個別の機器名の四角が死活監視 (緑/赤/他)、新規アラートは丸で表現され緑が正常、赤が異常などと容易に判別可能。
- ・Ping、SNMP以外ではHTTP、Syslog/SNMP Trap受信、NW機器コマンド実行が可能。
- ・データ (監視結果) の自動・手動削除機能
- ・Apache、Tomcat、PostgreSQLのオープンソースは枯れていて安心できます。導入は次へボタンだけ。
- ・バックアップ/リカバリは専用BATファイルの引数に日時ディレクトリを指定するだけで簡単です。
- ・リカバリはWebサービスを停止してリカバリバッチに、バックアップで作成した日時ディレクトリを指定します。検証環境作成や不具合の確認を行う時に重宝します。
- ・Windows環境での提案が多いです。導入し起動・終了・再起動を何度も繰り返しましたが非常に安定して動作します。万が一不具合が発生したとしても、日付バックアップディレクトリ、ライセンス、インストールプログラムを再セットアップ用に用意しておけば安心出来ます。
- ・バージョンアップ方法は基本アンインストール、最新プログラムのインストール、WEBを停止してDB移行をマイグレートバッチ or リカバリバッチを実行します。

・ISP/MSP/DC/金融系の案件でも無い限り画面を見続ける事はないのでアラートバッチから警報ランプの光分け鳴り分けがこの価格で出来れば十分だと期待します。

・監視ソフトを扱った事のある管理者であれば、最初の説明は警報ランプ解除と監視ソフトへのログイン、監視項目のスタータス（緑か赤）とアラート発生日時が画面から読み取れればツリーから監視項目を判別可能です。

・アカウントは参照ユーザーの既定権限がちょうど良く、作成はブラウザGUIから可能です。ツリーに東京、大阪などがあればログイン後に東京、大阪を設定可能。

・日本語ヘルプ、日本語操作ドキュメントのPDFはインストール先のAN-ManagerStationに配置されており監視サーバからPDFマニュアルをブラウザから参照可能です。

・機器名にタグを設定するとタグの右クリックから複数グラフ表示可能。複数サーバの空容量の比較、レポート作成など、グラフを比較したい時にタブ設定が便利です。

・HTTP接続でURL監視が出来るので冗長サーバのhttpを監視して切替わり、文言有無の監視など可能です。

・Syslog、SNMP TrapはIPアドレスが監視機器に登録されていないと表示されません。販売側としてはanyで受信を溢れる状態にたくないのを助かります。Trap受信にどんな物が出てくるかはOID 1.3以下のフィルタを作成してLinkDown/UpやWarmStart、ColdStartを試すとイメージが掴めると思います。

・APRESIAスイッチはSNMPポート番号のインデックスが1から始まり、ポート番号が重要なポート無効化（感染端末のポート判別、追跡）が優れています。SNMP名でポート管理を行うと、ポートの名前管理が大変です。学部・学科・研究室名の変更やサーバのNIC追加、移動があった時など。インデックス番号がポート番号とずれている機器はP1(port1)などのサフィックスやネーミング設定を良く見かけます。ポート名なしの事も多々ありお客様が障害ポートを特定できない事も珍しくなく、1から始まるAPRESIAはポート管理・設定が容易です。SNMP TrapやSyslogのポート番号判別でも仕様確認が必要になるなど同様です。

3. 警報ランプとの通知連携

警報ランプAPIをhttpで実行

```
powershell -Command Invoke-RestMethod -Uri "http://xx.xx/警報ランプAPI"
```

赤点灯+ブザー など可能

警報ランプのHTTPコマンド制御を有効化します。警報ランプは相互死活監視、通知に便利です。価格は余り差がないので案件では3灯ではなく5灯タイプを選択され2灯は点灯しなくなった場合の予備とする事をお薦めします。

赤+青点灯+ブザー、黄+白点灯+ブザーなど。

相互死活監視は、警報ランプの死活監視機能を用い監視サーバの外部IPへPingを飛ばし、失敗したら全点灯すると分りやすいと思います。

4. 日本で広く採用される事を期待

本製品は監視製品の経験があれば難しくありません。A

pache、Tomcat、PostgreSQLのインストールも次へ次へと簡単です。監視設定は表計算ソフトで監視対象のIP一覧を作成し、OID、タイムアウト、リトライの一覧をマウスカーソルでコピーしながら作成しそのままインポートするだけです。変更が無い行は無視されるので同じCSVファイルを編集しながら使い回すと管理が楽だと思います。通知はアクション設定から紐付けが必要です。監視設定がグルーピングされたツリーは日本語名の階層でカテゴリズすれば、1度見れば理解できると期待します。

監視案件は若手SEに経験を積ませるのに丁度良い仕事です。システムやNW全体がイメージとして顧客と共有できますし監視エンジン、セキュリティ、他製品との組み合わせ方や監視方式、レスポンスやブラウザ選択、客先へのシステム全体説明など、少しずつ広げていく切っ掛けとなる製品だと思います。営業の足がかりとしても、切替えや故障時の提案にお客様と画面を見ながら会話するとお話が自然と進みます。〇〇が良く落ちるですとか、容量が無いですとかアップリンクがそろそろ1Gbpsですとか、VPNが100Mbps超えてそろそろやばそうですとか、バックアップのトラフィックやNASのピーク、オフピークですとか。

会社のヘビーユーザーが〇〇にいるですとか。

日本製で為替の影響もなく、同じ日本人の思いが通じる大変貴重な日本製のIT製品 ver 1です。外国製品は外貨の仕向け送金処理の事務手続きが大変でしたり、カード払いではその日の最高値の為替が適用されてしまったり、グローバルでは様々な政策が影響する事もあり難しくなる時があるかもしれません。暗雲ただようグローバル経済ですが、本製品は色も水色で何か良い事が起こりそうな製品です。

監視ソフト+警報ランプの組み合わせはありきたりですがクラウド化やサブスクリプション化の流れで日本人が安全と考える非インターネット環境で利用可能な製品を探す事が難しくなって来ています。監視ソフト製品は24 x 365で監視項目を仕掛けておけば管理者の代わりにシステムをずっと見てくれる便利なシステムです。AN-Manager Stationは現在ver 1とこれからの機能アップにも期待できます。3000IPまで死活監視が可能なパフォーマンス設計となっており、低リソースで安定動作します。パフォーマンス監視は5000項目まで。バックアップ・リカバリ、起動、終了、再起動も安定動作します。WEBとDBのサービス構成は、Apache、Tomcat、PostgreSQLの枯れている構成です。お客様NetworkをAPRESIA製機器で水色に染めてAN-ManagerStationで管理していただければ幸いです。

5. AN-ManagerStationのご評価

検索キーワード「AN-ManagerStation 評価版」

https://www.apresia.jp/products/soft/an_manager.html

お気軽にお問い合わせ下さい。050-3786-0430

株式会社すみれ情報システム 営業部